

## 徳島県観光振興基本計画（第3期）改正案のポイント

令和元年8月に策定した「徳島県観光振興基本計画（第3期）」（計画期間：2019年度(R1)～2022年度(R4)）について、コロナ禍による環境の変化を踏まえ、感染拡大防止と社会経済活動の持続的両立を図りながら、ニューノーマルに対応した効果的な施策を推進するため改定を行う。

- 重点施策及び基本施策において、感染予防や新しい旅行スタイルなどニューノーマルに対応した「新たな視点」を盛り込む
- 数値目標について、コロナ禍での影響や新たな施策展開を踏まえて、「延べ宿泊者数」などの目標値を改める

ニューノーマルに対応した  
新たな視点

(本体P12 新旧対照表P11)

- 安全安心な観光地づくり**
  - ・コロナ感染拡大防止条例等に基づく感染予防対策の徹底
- DX(デジタルトランスフォーメーション)を活用した誘客の推進**
  - ・オンラインツアーやVRコンテンツ等の活用
- SNSによる徳島の魅力発信**
  - ・官民一体となり、SNSでの「徳島県」を想起するハッシュタグ
- 新しい旅行スタイルに対応した滞在型観光の促進**
  - ・ワーケーションやブレジャー等の推進
- 新たな観光トレンドに対応した観光人材の育成**
  - ・とくしま観光アカデミーの開講により、新しい旅行者ニーズに対応した人材を育成

## 重点施策

観光のリスタートに向けた  
主な取組

## 1. 国内誘客強化施策

- (現行：国内誘客施策) (本体P18 新旧対照表P17)
- ・SNSハッシュタグによる徳島の認知度の向上
  - ・オンラインツアーやVRコンテンツの充実
  - ・四国DC(デスクティネーションキャンペーン)と連携した誘客促進
  - ・J1復帰を契機とした誘客促進

## 2. 滞在型観光推進施策 (本体P21 新旧対照表P19)

- ・光ブロードバンド環境など徳島の強みを活かした「ワーケーション」や「ブレジャー」の推進
- ・「アドベンチャーツーリズム」等の推進
- ・長期滞在型の客室の整備促進

## 3. 国際観光プロモーション施策

- (現行：インバウンド拡大施策) (本体P23 新旧対照表P20)
- ・現地旅行会社とのオンライン商談会の実施
  - ・外国人インフルエンサー、多言語SNS等を活用した魅力発信
  - ・ウェブセミナーなどオンラインの積極的活用
  - ・Wi-Fi環境等の整備

## 4. ニューノーマルMICE誘致促進施策

- (現行：MICE誘致施策) (本体P26 新旧対照表P23)
- ・中規模、小規模のコンベンションの誘致促進
  - ・「現地開催とオンライン」を組み合わせた会議等の誘致

## 基本施策 (重点施策の推進に向けた共通した取組)

- 観光マーケティングの強化** (本体P28 新旧対照表P24)
- 安全安心な受入環境の推進 (追加)**
  - ・コロナ感染拡大防止条例等に基づく観光関連施設などでの感染予防対策の徹底 (本体P28 新旧対照表P24)
- 観光誘客基盤の強化** (本体P29 新旧対照表P25)
- 観光人材の育成・強化** (とくしま観光アカデミー)
  - ・ニューノーマルな旅行スタイルなどの対応した人材育成
  - ・将来の観光人材の育成
  - ・観光事業従事者のリカレント教育
  - ・アクティブシニア等のスキルアップ教育 (本体P31 新旧対照表P26)
- 観光コンテンツの充実** (本体P32 新旧対照表P27)
- 情報発信力の強化** (本体P36 新旧対照表P29)
- 広域観光の推進** (本体P39 新旧対照表P30)

## 数値目標の見直し【2021年度及び2022年度の目標値】

- (本体P14 新旧対照表P13)
- 「国内延べ宿泊者数(日本人)」「延べ観光入込客数」「年間観光消費額」について、2021年度(R3)から段階的に回復することを想定の上、目標値を見直し
    - ・国内延べ宿泊者数：2021年7月ごろから段階的に回復(2019年比60%→70～100%)  
⇒2022年1月頃に2019年並に回復
  - 「外国人延べ宿泊者数」「コンベンション参加者数」「クルーズ来県者数」を廃止し、ニューノーマルに対応した新たな項目を設定

## 新たな数値目標の設定

- ▶ 「感染拡大予防ガイドライン実践店ステッカー」「事業者版スマートライフ宣言」導入宿泊施設数
- ▶ ハッシュタグ投稿数
- ▶ ニューノーマルに対応した観光プロモーション(観光セミナー・商談会等)実施回数
- ▶ 現地開催とオンラインを組み合わせた会議等(中四国規模以上)開催回数